

研修会報告

平成 30 年 12 月 21 日

文責：播磨 晋太郎

研修会名：検査総合部門研修会「宮臨技ニューリーダー育成研修会」

開催日時：平成 30 年 12 月 16 日(日) 9:00 ~ 17:00

会場：東北大学医学部保健学科 第 2 講義室

<プログラム>

【講演】

「日臨技の求めるニューリーダー像について」

講師：日本臨床衛生検査技師会 専務執行理事 深澤恵治 先生

【ワークショップ 1】

「目標達成のための課題の抽出と行動プランの策定」

講師：大崎市民病院 臨床検査副技師長 氏家和明 先生

【ワークショップ 2】

「視点を変えるコミュニケーション力」

講師：東北大学病院 栄養管理室 室長 岡本智子 先生

日臨技生涯教育研修制度：基礎 20 点

参加者：会員 26 名、講師 3 名 計 29 名

【内容】

日臨技事業として平成 26 年度から開催している「地域ニューリーダー育成研修会」の伝達講習として、「宮臨技ニューリーダー育成研修会」を開催しました。日常の業務活動に役立つ問題解決能力やそれを実現するためのコミュニケーション能力の向上を目的に、ワークショップ主体の内容として企画しました。まず、日臨技の深澤恵治専務理事の講演では、年々変化する医療情勢についての解説があり、それに対する日臨技の対応についてお話がありました。また、日臨技が求めるリーダー像について具体例を挙げて説明されました。今まで知らなかった日臨技の取り組みを知る事が出来たことに加えて、積極的に日臨技から情報を収集し、宮臨技や自施設でもその取り組みに協力する必要性を認識しました。ワークショップ 1 では、「目標達成のための課題の抽出と行動プランの策定」を目的に、付箋を用いた課題の抽出法をグループに分かれて行いました。職場における現状の課題をテーマに、ワークショップを進めましたが、どのグループも共通して、人材育成（教える側も教わる側も）とコミュニケーションが課題として挙げられました。限られた時間でしたが、活発に意見交換が行われ、いろいろな世代の方の正直な意見を聞くことができたという感想や宮臨技に対する要望も出されました。ワークショップ 2 では、視点を変えるコミュニケーション力をテーマに、さまざまなコミュニケーションツールの習得と実践を行いました。特

にタイプ分けによるコミュニケーションについては、職場だけでなく普段の生活でも役立つという声も聞かれました。相手を少しでも理解するように努めることで、飛躍的に対人関係が良好になるという感想をもちました。

長時間の研修会でしたが、非常に充実した内容でした。参加者アンケートでも参加者全員が満足又はほぼ満足という回答を得られました。今後についても参加して良かった、各年代で実施したほうが良いという意見や人数制限を設けず開催して欲しいという意見が聞かれました。当日は会長並びに理事の方々も多数参加して頂きましたので、継続開催に向けて取り組んでいきたいと思えます。

